



クマにご注意!!

村内で多数の日撃情報

最近村内でクマ(ツキノワグマ)の出没が多数確認されています。村では昨年1年間で20件の目撃情報がありました。今年3カ月間ですでに12件の情報が役場に寄せられています。

6月2日には黒崎地区の村道ではアスファルトにくつきり残っていたクマの足跡を、黒崎小学校の大洞晴洋校長が撮影しています。また、6月28日には、村道明神線付近でクマの目撃情報があったことから、普代小学校では集団下校をさせるということもありました。

黒崎で見つかったクマの足跡。道路を横断したようです(写真提供:大洞黒崎小校長)

幸い村では人的被害はありませんが、県内ではクマによる事故が4月から6月までで11件(昨年1年間では10件)となっています。これから9月にかけて、クマの食料となる山菜などが少なくなり、人里への出没が考えられます。クマの被害を防止するため、もう一度次の点に注意しましょう。



黒崎小の子どもたちもカバンに鈴を付けてクマ対策をしています

- ◆クマを引き寄せないために
 - ・家の周りに残飯を置かない、捨てない
 - ◆クマに遭わないために
 - ・クマ情報を聞いてクマが出没している場所には近づかない
 - ・鈴や笛、ラジオなど音のするものを身に付ける
 - ・朝夕のクマの行動が活発なときは山に入らない
 - ・一人の行動は避ける
 - ・クマのフンや足跡を見つけたら引き返す
 - ・子グマを見付けたらそっと立ち去る
 - ◆クマに遭遇したら
 - ・慌てず、騒がない。走って逃げない
 - ・クマから目を離さないようにして、できるだけゆっくり後ずさりしながらクマから離れる

その時々には正しいと言われた事が、まるつきり別な考えを良しとする事があります。そんな中でずいっと昔から、体に悪さをするとのこと言われ続けて来たたばこについて、今回はもう一度考えていただけなら!の思いで書かせてもらいます。

たばこの及ぼす害について理解していても、その事実を受け止めながら喫煙を続けようと思う方、やめたいとは思っているのだがやめられずにいる方、喫煙できる自分の居場所がどんどん狭くなる現実、頭を抱えていらつしやるのだと思います。

心と体に話! うるさいほどにたばこの話

に対する責任の一つでもありますよね!
「たばこのみは肩身が狭いよなあ」という声が聴こえてきそうですが、堂々と吸える場所であつた、「どこでもたばこ」は許されない時代です。「たばこでストレスを解消しているのに!」「頭の切り替えには絶対必要なんだ!」とおっしゃる方、たばこ以外の方法に切り替えることは不可能でしょうか?

たばこの副流煙が刺激になってせき込んでいる方をよく見かけます。せき込む苦しい状態でありながらもたばこを吸っている方に申し訳なさそうに「大丈夫です」を繰り返されている場面もありました。喫煙という行為は、悪意がなくても大きな悪さをしてしまうものであることに間違いはないようです。

それでも、やっぱり、吸い続ける事を選択する方は、マナーを守って、やめられない喫煙という行為が、自分自身のストレスになるといふ悪循環にならないように——と願っています。

保健婦 長根真奈子
※次回は歯科診療所です。